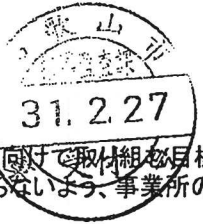


(別紙4(2))

### 目標達成計画



事業所名 春風会わかのうらグループホーム

作成日: 平成 31年 2月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け、取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	・地域高齢化ではあるが災害時、地域住民や消防団等に協力体制をお願いできるような関係性を構築できていない。	・避難場所として開放し、地域の方々に必要とされ、信頼いただける事業所となる。 ・地域全体で安全に避難できる協力体制が構築できている。	・自治会の回覧板や運営推進会議等で、避難場所として開放することを周知する。 ・消防団や消防署、地域の方々を運営推進会議や防災訓練に参加していただき、共に訓練を行う。	12ヶ月
2	49	・地域の方々、ご家族やご友人を交えた行事や、交流会が開催できていない。	・ご家族同士が交流し、話し合いの場の提供や施設での生活に安心感を持っていただく。	・ご家族やご友人が、イベントに参加していただきやすいような日時に配慮する。 ・昼食会やお茶会を行い、ご家族と過ごしやすい雰囲気作りを行う。	6ヶ月
3	52	・おやつ作りや、調理レクリエーションで職員が手伝い過ぎてしまい、ご入居者を主役に支援できていない。	・調理やおやつ作りを企画し、個々に合わせた支援で、家庭で過ごしているような雰囲気となっている。	・衛生面や安全面だけにとらわれず、食事の盛り付けや、洗い物は役割として楽しみながら取り組めるよう支援を行い、居心地の良い空間づくりを行う。	3ヶ月
4	36	・お名前を呼ぶ時、馴れ合いの呼び方になっている時もある。 ・トイレ誘導時の声かけが、羞恥心への配慮に欠けていたり、スピーチロックにも気をつけなければならない。	・尊厳重視、羞恥心への配慮ができています。 ・職員個々が意識をもち、お互い注意し合えるようになっている。	・カンファレンスや研修会で、人権擁護や高齢者虐待、接遇マナーの勉強会を行い意識付けを行う。 ・ユニットリーダーを中心に、さり気ない声かけや非言語コミュニケーションで伝える等、日々の言葉かけを継続的に見直し、職員同士注意しあう。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。